



ほ場整備事業に係る現地調査を行いました (高根西部・一色地区)

東部



御殿場市と小山町にまたがった高根西部・一色地区のほ場整備事業では、令和2年度から本体工事に着手しています。

土地改良区役員や関係市町などの関係機関が集合し、今後の施工箇所での調整を要する地点の現地調査を行い、今後の方向性を検討しました。このような、机上の検討だけでなく、実際に現場を見分し、地権者から直接意見を聞くなどの作業は、事業のスムーズな進捗には欠かせない要素になります。

半日かけて現場を踏破し議論を交わすなどの結果、認識の統一化を図りつつ、解決に向けて概ねの方向性を見出すことができました。

東部農林事務所では、引き続き、地元や土地改良区、関係市町等と連携して事業を推進していきます。

東部農林事務所用地管理課 055-920-2163

換地計画原案を地元で公開しました (中清水地区)

東部

令和3年5月14日(金)夜と15日(土)にかけて、ほ場整備事業中清水地区の換地計画原案の地元説明会を行いました。

令和元年度の災害や新型コロナウイルス感染症の影響で、予定より遅れましたが、10回を超える検討の末に換地選定作業が終了したため、地元地権者に公表・説明するとともに、同意を得るための説明会です。

新型コロナウイルス感染症対策のため、地区を4つに分けて人数を限定して全体的な説明や一般的な質疑応答を行い、個別に詳しい説明を聞きたい方などは23日(日)に個別説明を行いました。

土地改良区の役員、換地委員や関係機関職員が連携して丁寧な説明を行い、必要な修正を施した上で正式な換地計画原案となります。

東部農林事務所では、引き続き、地元と御殿場市、県土連と連携しながら事業を推進していきます。



東部農林事務所用地管理課 055-920-2163

東部

生産基盤関係東部地域推進会議を 開催しました



令和3年5月12日（水）、東部総合庁舎にて生産基盤関係東部地域推進会議を開催しました。

推進会議には市町、農協職員ら約30名が参加しました。

中古ハウスの活用や第三者継承等の担い手育成関係事業の紹介や、人・農地プラン実質化の推進についての説明を行いました。

東部農林事務所では今後も定期的に担当者会議を開催し、事業の推進を図っていきます。

東部農林事務所生産振興課 055-920-2158
農村整備課

富士宮市 人・農地プラン推進チーム会議を 開催しました

富士

令和3年5月12日（水）、富士宮市役所で、令和3年度第1回人・農地プラン推進チーム会議を開催しました。

市農業政策課、市農業委員会事務局、富士宮農協、富士開拓農協、機構富士駐在、農林事務所の計12名が、各地区の人・農地プランの実質化の進捗状況を確認し、今後の進め方について検討しました。

開拓地区では、アンケートの回収がほぼ終わり、スケジュールを検討した結果、地図化の後、酪農家の牧草の作業に比較的余裕がある8月のお盆前に、3地域に分けて話し合いを実施することが決まりました。

星山・貫戸地区及び、羽鮒地区ではアンケートの発送が終わり、今後、地図化の作業を進めていきます。

富士農林事務所では、今後も関係機関と連携し、人・農地プランの実質化を推進していきます。



富士農林事務所生産振興課 0545-65-2194
農村整備課

中部

三保地区で人農地プラン実質化に向けた
打合せを行いました

令和3年4月28日（水）、JAしみずの三保地区において、人農地プラン実質化に向けた地域の話し合いを行いました。

三保～駒越地区では、人・農地プラン実質化に向けて、アンケートの実施、地図化を行ってきました。

今回はこの結果をもとに、地域の方向性について話し合うため、若手生産者9名とJAしみず、静岡市、中部農林事務所で見聞交換を行いました。

生産者からは、「施設のメンテナンスが課題」、「土地がばらばらで効率が悪いので集約できると良い」、といった意見のほか、「現状で手一杯であり、個人ではこれ以上の規模拡大は難しい」といった声も聞かれました。

今回の意見を集約し、今後のプランの方向性について検討します。引き続き地域の農業振興に取り組んでいきます。

中部農林事務所生産振興課 054-286-9020
農村整備課

志榛

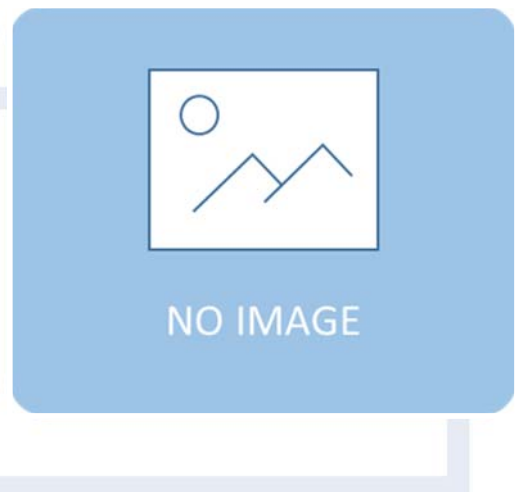
島田市落合地区で基盤整備に係る
地権者説明会を開催しました

島田市落合地区は、平成29年度から農地利用の検討を開始し、基盤整備を行うことを決め、昨年度基盤整備組合を設立しました。

令和3年5月8日（土）に、地権者及び市、JA、農林（生産振興課、農村整備課、農地整備課）が出席して地権者説明会が開催され、当所から農地中間管理機構関連農地整備事業の令和4年度採択を前提とした事業スケジュール及び農地中間管理事業による貸借手続きについて説明し、了解されました。なお、欠席者に対しては、後日基盤整備組合で対応しました。

これを受け、今後は、市及び機構駐在員と協力し、年内に機構への貸借手続きを全員が完了するよう進めていきます。

志太榛原農林事務所生産振興課 054-644-9214
農村整備課、農地整備課



西部

西部農林が農地基盤整備に係る 事業調整検討会を開催しました



令和3年5月19日（水）、西部農林事務所が浜松市向けの事業調整検討会を開催しました。

検討会では、西部農林農地担当から、今年度の基盤整備事業の概要が説明され、浜松市関係各課からさまざまな要望や相談が寄せられました。

特に、人・農地プラン話合いと基盤整備に係る地元検討会との棲み分け、基盤整備スケジュールと農地中間管理事業推進スケジュールのすりあわせについて検討がなされました。

西部農林事務所はこれからも農地集積を推進していきます。

西部農林事務所生産振興課 053-458-7212
農村整備課

都田川ダムの吹鳴訓練を実施しました

西部

都田川ダムは、一時的に大量の水を貯水することで、大雨による下流の洪水被害を防いでいます。

しかし、台風や大雨等でダムから越流する水位に達した際、ダムから大量の水が下流河川に流れ、増水する恐れがあるため都田川沿いに設置した警報サイレンをならし、危険を知らせています。

ダムを管理する西部農林事務所では、年に1度警報サイレンの作動テストを兼ねた防災訓練を実施しており、今年度は令和3年5月28日（金）に行いました。



西部農林事務所農村整備課 053-458-7224